Ⅳ　諸資格の取得

１. 教育学部の取得資格

１）小学校教諭一種免許状

この教員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の学位を取得することが必要です。したがって、「卒業」することが教員免許状取得の前提条件になります。また、下表各科目区分においてそれぞれ本学が定める科目の必要単位を修得する必要があります。

【教科及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数				本学で開講する科目及び単位数			
教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項		最低修得単位数	授　業　科　目	単位数	備考	卒業必修
教科及び教科の指導法に関する科目	・教科に関する専門的事項（１以上の科目について修得すること）	国語（書写を含む。）	３０	初等国語論	2	必修	○
		社会		初等社会科論	2		
		算数		初等算数論	2	必修	○
		理科		初等理科論	2		
		生活		初等生活科論	2		
		音楽		初等音楽論Ⅰ	1	必修	○
				初等音楽論Ⅱ	1	必修	○
				初等音楽論Ⅲ	1		
		図画工作		初等図工論Ⅰ	1	必修	○
				初等図工論Ⅱ	1	必修	○
		家庭		初等家庭科論	2		
		体育		初等体育論Ⅰ	1	必修	○
				初等体育論Ⅱ	1		
		外国語		初等英語論	2	必修	
	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	・各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）国語等の教科ついてそれぞれ１単位以上必修			初等国語科教育論	2	必修	
				初等社会科教育論	2	必修	
				初等算数科教育論	2	必修	
				初等理科教育論	2	必修	
				初等生活科教育論	2	必修	
				初等音楽科教育論	2	必修	
				初等図工科教育論	2	必修	
				初等家庭科教育論	2	必修	
				初等体育科教育論	2	必修	
				初等英語科教育論	2	必修	

Ⅳ　諸資格の取得

教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	１０	教育原理	2	必修(幼)	○
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2	必修(幼)	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2	必修(幼)	○
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	2	必修(幼)	○
			児童心理学	2	(幼)	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解（１単位以上を修得）		特別支援教育学	2	必修(幼)	○
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		初等教育課程論	2	必修(幼)	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法（2単位以上修得）	１０	初等道徳教育論	2	必修	
	・総合的な学習の時間の指導法		初等特別活動指導論	1	必修	
	・特別活動の指導法		総合的な学習の指導論	1	必修	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		初等教育方法学	2	必修(幼)	○
	・生徒指導の理論及び方法		初等生徒・進路指導論	2	必修	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		初等教育相談	2	必修(幼)	○
教育実践に関する科目	・教育実習（事前及び事後の指導の１単位を含む）	5	教育実習（幼・小）	4	必修(幼)	
			教育実習事前事後指導	1	必修(幼)	
			小学校教育実習	2		
	・学校体験活動		教職インターンシップ	2	(幼)	
	・教職実践演習(２単位)	2	教職実践演習（幼・小）	2	必修(幼)	
大学が独自に設定する科目		2	教育学概論Ⅰ	1	必修	○
			教育学概論Ⅱ	1	必修	○
			サービスラーニング	1	必修	○
			セーフティプロモーション	1		
計		５９	計	８０	６３	

(幼)・・幼稚園教諭一種免許状と共通開講

【教育職員免許法施行規則第66の6に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学で開講する科目及び単位数			
科目	最低修得単位数	授　業　科　目	単位数	備考	卒業必修
日本国憲法	2	社会と人権（日本国憲法）	2	必修	○
体育	2	体育講義	1	必修	○
		体育実技	1	必修	○
外国語コミュニケーション	2	Speaking & Listening	1	必修	○
		Writing	1	必修	○
		Reading Ⅰ	1	必修	○
		Reading Ⅱ	1		
		Process Writing	1		
		時事英語	1		
		異文化交流（海外語学研修）	2		
情報機器の操作	2	情報リテラシーⅠ	1	必修	○
		ICT活用演習	1	必修	○
計	8	計	１４		

２）幼稚園教諭一種免許状

教員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の学位を取得することが必要です。したがって、「卒業」することが教員免許状取得の前提条件になります。また、下表各科目区分においてそれぞれ本学が定める科目の必要単位を修得する必要があります。

【領域及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数				本学で開講する科目及び単位数			
領域及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項		最低修得単位数	授　業　科　目	単位数	備　考	卒業必修
領域及び保育内容の指導法に関する科目	・領域に関する専門的事項（1以上の科目について修得）	健康	１６	幼児と健康論	1	必修	
		人間関係		幼児と人間関係論	1	必修	○
		環境		幼児と環境論	1	必修	○
		言葉		幼児と言葉論	1	必修	○
		表現		幼児と表現論	1	必修	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
	・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）			保育内容総論	2	必修	○
				保育内容指導法（健康）	1	必修	
				保育内容指導法(人間関係)	1	必修	○
				保育内容指導法（環境）	1	必修	○
				保育内容指導法（言葉）	1	必修	○
				保育内容指導法（表現）	1	必修	
				幼児音楽指導法Ⅰ	1	必修	
				幼児音楽指導法Ⅱ	1	必修	
				幼児造形指導法Ⅰ	1	必修	
				幼児造形指導法Ⅱ	1	必修	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		１０	教育原理	2	必修(小)	○
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)			教職論	2	(小) かいずれ必修	
				保育者論	2		
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）			教育制度論	2	必修(小)	○
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程			教育心理学	2	必修(小)	○
				児童心理学	2	(小)	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解（１単位以上を修得）			特別支援教育学	2	必修(小)	○
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）			初等教育課程論	2	(小) かいずれ必修	
				保育・教育課程論	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		4	初等教育方法学	2	必修(小)	○
	・幼児理解の理論及び方法			幼児の理解	1	必修	
	・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			初等教育相談	2	必修(小)	○

教育実践に関する科目	・教育実習（事前及び事後の指導の１単位を含む）	5	教育実習（幼・小）	4	必修（小）	
			教育実習事前事後指導	1	必修（小）	
			幼稚園教育実習	2		
	・学校体験活動		教職インターンシップ	2	（小）	
	・教職実践演習（２単位）	2	教職実践演習（幼・小）	2	必修（小）	
大学が独自に設定する科目		１４※	初等国語論	2	必修	○
			初等音楽論Ⅰ	1	必修	○
			初等音楽論Ⅱ	1	必修	○
			初等音楽論Ⅲ	1		
			初等図工論Ⅰ	1	必修	○
			初等図工論Ⅱ	1	必修	○
			初等体育論Ⅰ	1	必修	○
			初等体育論Ⅱ	1		
			教育学概論Ⅰ	1	必修	○
			教育学概論Ⅱ	1	必修	○
			サービスラーニング	1	必修	○
			セーフティプロモーション	1		
計		５１	計	６３		

（小）・・小学校教諭一種免許状と共通開講

※「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて
履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」

・「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」
「教育実践に関する科目」について、併せて4単位以上を修得

【教育職員免許法施行規則第66の6に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学で開講する科目及び単位数			
科目	最低修得単位数	授　業　科　目	単位数	備考	卒業必修
日本国憲法	2	社会と人権（日本国憲法）	2	必修	○
体育	2	体育講義	1	必修	○
		体育実技	1	必修	○
外国語コミュニケーション	2	Speaking & Listening	1	必修	○
		Writing	1	必修	○
		Reading Ⅰ	1	必修	○
		Reading Ⅱ	1		
		Process Writing	1		
		時事英語	1		
		異文化交流（海外語学研修）	2		
情報機器の操作	2	情報リテラシーⅠ	1	必修	○
		ICT活用演習	1	必修	○
計	8	計	１４		

３）保育士資格

保育士になるためには、基礎資格として学士の学位を取得することが必要です。したがって、「卒業」することが前提条件になります。また、下表各科目区分においてそれぞれ本学が定める科目の必要単位を修得する必要があります。

【厚生労働省告示必修科目】

告示による教科目				本学で開講している科目及び単位数			1単位当たり授業時間数	備考	卒業必修
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数			
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2	１５時間	必修	○
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2	１５時間	必修	○
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2	１５時間	必修	○
	社会福祉	講義	2	社会福祉論	講義	2	１５時間	必修	○
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2	１５時間	必修	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2	１５時間	必修	
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2	１５時間	必修	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	教育心理学	講義	2	１５時間	必修	○
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2	１５時間	必修	
	子どもの理解と援助	演習	1	幼児の理解	演習	1	１５時間	必修	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2	１５時間	必修	
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2	１５時間	必修	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	保育・教育課程論	講義	2	１５時間	必修	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2	１５時間	必修	○
	保育内容演習	演習	5	保育内容指導法（健康）	演習	1	１５時間	必修	
				保育内容指導法（人間関係）	演習	1	１５時間	必修	○
				保育内容指導法（環境）	演習	1	１５時間	必修	○
				保育内容指導法（言葉）	演習	1	１５時間	必修	○
				保育内容指導法（表現）	演習	1	１５時間	必修	
	保育内容の理解と方法	演習	4	初等音楽論Ⅰ	演習	1	３０時間	必修	○
				初等図工論Ⅰ	演習	1	３０時間	必修	○
				初等体育論Ⅰ	演習	1	３０時間	必修	○
				幼児と言葉論	演習	1	１５時間	必修	○
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2	１５時間	必修	
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1	１５時間	必修	
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1	１５時間	必修	
	障害児保育	演習	2	特別支援教育学	演習	2	１５時間	必修	○
	社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1	１５時間	必修	
	子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1	１５時間	必修	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習ⅠA	実習	2	４０時間	必修	
				保育実習ⅠB	実習	2	４０時間	必修	
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導ⅠA	演習	1	１５時間	必修	
				保育実習指導ⅠB	演習	1	１５時間	必修	
総合演習	保育実践演習	演習	2	教職実践演習（幼・小）	演習	2	１５時間	必修	
計		５１単位		計		５２			

Ⅳ　諸資格の取得

【厚生労働省告示選択必修科目】９単位以上必修 （「保育実習･保育実習指導」Ⅱ、Ⅲいずれかを含む）

告示による教科目				本学で開講している科目及び単位数			1単位当たり授業時間数	備考	卒業必修
系列	教科目	授業形態	設置単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数			
保育の本質・目的に関する科目			１５単位以上	教育制度論	講義	2	１５時間	必修	○
				教職論	講義	2	１５時間	これらの科目から２単位以上必修	
保育の対象の理解に関する科目				児童心理学	講義	2	１５時間		
				障害児（者）心理学	講義	2	１５時間		
保育の内容・方法に関する科目				幼児音楽指導法Ⅰ	演習	1	３０時間		
				幼児音楽指導法Ⅱ	演習	1	３０時間		
				幼児造形指導法Ⅰ	演習	1	３０時間		
				幼児造形指導法Ⅱ	演習	1	３０時間		
				障害児保育論	講義	2	１５時間		
				野外活動	演習	2	３０時間		
				初等国語論	講義	2	１５時間	必修	○
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2	４０時間	※	
				保育実習Ⅲ	実習	2	４０時間		
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	1	１５時間		
				保育実習指導Ⅲ	演習	1	１５時間		
計			１８以上	計		２４			

※「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅱ」あるいは、「保育実習Ⅲ」「保育実習指導Ⅲ」のいずれか必修

【厚生労働省告示教養科目】８単位以上必修 （体育を含む）

告示による教科目				本学で開講している科目及び単位数			1単位当たり授業時間数	備考	卒業必修
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数			
教養科目	外国語、体育	不問	６以上	キリスト教と人間	講義	1	１５時間	必修	○
				現代とキリスト教	講義	1	１５時間	必修	○
				人間論（哲学）	講義	1	１５時間	必修	○
				教育学概論Ⅰ	講義	1	１５時間	必修	○
				教育学概論Ⅱ	講義	1	１５時間	必修	○
				ライフサイエンス	講義	1	１５時間	必修	○
				サービスラーニング	演習	1	３０時間	必修	○
				キャリア入門	演習	1	３０時間	必修	○
				社会と人権（日本国憲法）	講義	2	１５時間	必修	○
				情報倫理	講義	1	１５時間	必修	○
				情報リテラシーⅠ	演習	1	３０時間	必修	○
	外国語	演習	２以上	Speaking ＆ Listening	演習	1	３０時間	必修	○
				Writing	演習	1	３０時間	必修	○
				Reading Ⅰ	演習	1	３０時間	必修	○
				Reading Ⅱ	演習	1	３０時間		
				Process Writing	演習	1	３０時間		
				時事英語	演習	1	３０時間		
	体　育	講義	1	体育講義	講義	1	１５時間	必修	○
		実技	1	体育実技	実技	1	３０時間	必修	○
計		１０単位以上		計		２０			

4）他の諸資格

児童厚生員任用資格

1999 年に「児童の遊びを指導する者」と名称が変更されましたが、一般的には「児童厚生員」という名称が使用されています。保育士資格、幼稚園教諭・小学校教諭となる資格を取得すると、同時に児童厚生員任用資格の有資格者となります。この資格は、地域の児童館、児童センター、地域子育て支援センターなどの児童厚生施設で子ども達の健全な成長を手助けする者として採用する際に、基準として厚生労働省が定めた資格です。

社会福祉主事任用資格

相談援助（ソーシャルワーク）の基礎的資格となります。この資格は本来、行政機関でもある福祉事務所の職員として働く者に要求される資格（任用資格）です。民間の社会福祉施設の相談員に必要な資格としても広く認められています。大学等において厚生労働大臣の指定する科目を在学中に３科目以上修得して卒業することが必要となります。

本学で社会福祉の基礎的な学習をした証明として、卒業時に「社会福祉主事任用資格」証を発行します。

（科目表）

本学科で開講している授業科目	卒業必修	備考※
社会福祉論	○	保必修
子ども家庭福祉	○	保必修
保育原理	○	保必修

本学における免許・資格取得のための必修・選択

※「保」：保育士資格

児童指導員任用資格

小学校の教諭となる資格を有し厚生労働大臣又は都道府県知事が適当と認めた場合、児童指導員になれます。「児童指導員」は、児童養護施設や障害児施設などの児童福祉施設に必ず配置されなければならないものです。

幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格２級

“リトミック”はスイスの教育者エミール・ジャック＝ダルクローズが創始した教育法で、明治時代に日本に伝えられ、以来優れた教育法としてわが国に広く普及し、幼児教育の手法として、また音楽の導入教育法として多くの教育関係者や幼児を持つ保護者から注目され続けています。

「リトミック演習」を受講し、授業内で行われる資格認定試験に合格することで『リトミック研究センター』より「幼稚園・保育園のためのリトミック指導資格２級」の資格が認定されます。（別途、申請費用が必要です。）

Ⅳ　諸資格の取得

ピアヘルパー

ピアは仲間・友達を意味する言葉で、ピアヘルパーは心理学やカウンセリングの知識を生かし、同輩の他者を理解し、相談相手になることができる支援をいいます。ピアヘルパー資格は、NPO 日本教育カウンセラー協会認定の初級資格で、取得のための学習を通じ、自己理解や他者理解を深めることを目標とします。

所定の単位を修得し、日本教育カウンセラー協会の認定試験に合格すると、日本教育カウンセラー協会より「ピアヘルパー資格認定証」が交付されます。

なお、ピアヘルパー資格者は、教育・福祉・保育などの分野で１年の実務経験及び日本教育カウンセラー協会主催の養成講座を得て、初級カウンセラーの資格を取得することができます。（別途、受験費用が必要です。）

【ピアヘルパー関係科目表】（ピアヘルパー受験資格を取得するには 4 単位以上必修）

本学で開講している授業科目	単位	卒業必修	備考※
教育心理学	2	○	小・幼必修
初等教育相談	2	○	小・幼必修
児童心理学	2		
子ども家庭支援の心理学	2		保必修

本学における免許・資格取得のための必修・選択

※「保」：保育士資格

「幼」：幼稚園教諭一種免許状

「小」：小学校教諭一種免許状

Ⅳ　諸資格の取得

こども音楽療育士

こども音楽療育は、音楽を通して、心身に何らかの障がいのあるこども達の発達的な援助を行うことをいいます。この資格は、音楽療育に関する基礎知識・専門知識に加え、それに必要とされる技術と実践能力とを養成することを目標としています。

下表の必修科目及び選択科目を履修し単位を修得すれば、全国大学実務教育協会より「こども音楽療育士」の資格が授与されます。（別途、申請費用が必要です。）

【必修・選択科目】（各群それぞれの必修科目を修得し、計 20 単位以上必修）

領域１　基礎となる知識・音楽技術の領域　（4 単位以上）

本学で開講している授業科目	本資格必修・選択	単位	卒業必修	備考※
初等音楽論Ⅰ	必修	1	○	幼・保・小必修
初等音楽論Ⅱ	必修	1	○	幼・小必修
初等音楽論Ⅲ	選択	1		
幼児音楽指導法Ⅰ	必修	1		幼必修・保選必
幼児音楽指導法Ⅱ	必修	1		幼必修・保選必
障害児保育論	選択	2		保選必
子どもの保健	選択	2		保必修
子ども家庭福祉	選択	2	○	保必修
社会福祉論	選択	2	○	保必修
教育心理学	選択	2	○	幼・保・小必修
特別支援教育学	選択	2	○	幼・保・小必修
子ども家庭支援の心理学	選択	2		保必修
保育内容指導法（表現）	選択	1		幼・保必修
障害児（者）心理学	選択	2		保選必

本学における免許・資格取得のための必修・選択

※「保」：保育士資格

「幼」：幼稚園教諭一種免許状

「小」：小学校教諭一種免許状

領域２　専門知識・技術の領域　（3 単位以上）

本学で開講している授業科目	本資格必修・選択	単位	卒業必修	備考※
こども音楽療育概論	必修	2		
こども音楽療育演習	必修	1		
音楽療法入門	選択	1		

領域３　総合的実務実践力の領域　（1 単位以上）

本学で開講している授業科目	本資格必修・選択	単位	卒業必修	備考
こども音楽療育実習	必修	1		
サービスラーニング	選択	1	○	幼・保・小必修

本学における免許・資格取得のための必修・選択

※「保」：保育士資格

「幼」：幼稚園教諭一種免許状

「小」：小学校教諭一種免許状

２. 看護学部の取得資格

１）看護師国家試験受験資格

看護師免許を得るためには、看護師国家試験に合格し、厚生労働大臣の免許を受けなければなりません（保健師助産師看護師法)。本学看護学科では、看護師国家試験受験資格を得るために必要な保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定められた教育課程を満たした学科として指定を受けているので、本学を卒業することにより、看護師国家試験受験資格を得ることができます。

２）養護教諭一種免許状

教員免許状を取得するためには、基礎資格として学士の学位を取得することが必要です。したがって、「卒業」することが教員免許状取得の前提条件になります。また、下表各科目区分においてそれぞれ本学が定める科目の必要単位を修得する必要があります。

【養護及び教職に関する科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数			本学で開講する科目及び単位数			
養護及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数	授　業　科　目	単位数	備考	卒業必修
養護に関する科目	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む）	4	環境と健康	1	必修	
			社会健康学	1	必修	○
			保健統計学	1	必修	○
			公衆衛生学（疫学）	1	必修	○
	学校保健	2	学校保健	2	必修	
	養護概説	2	養護学概説	2	必修	
	健康相談活動の理論及び方法	2	健康教育論	1	必修	○
			地域包括ケア論Ⅲ(地域・学校)	1	必修	○
	栄養学（食品学を含む）	2	栄養学	1	必修	○
			生化学	1	必修	○
	解剖学及び生理学	2	人体の構造と機能（解剖学）	1	必修	○
			人体の構造と機能Ⅱ	1	必修	○
	「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	微生物学・免疫学	1	必修	○
			臨床薬理学	1	必修	○
	精神保健	2	心のしくみと働き	1	必修	○
			メンタルヘルス・アセスメント	1	必修	○
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	１０	看護概論	1	必修	○
			基礎技術Ⅱ	2	必修	○
			ヒューマンケア実習Ⅱ	2	必修	○
			生涯発達看護論Ⅰ（母性）	2	必修	○
			生涯発達看護論Ⅱ（小児）	2	必修	○
			生涯発達看護論Ⅲ（成人）	1	必修	○
			生涯発達看護論Ⅳ（老年）	1	必修	○
計		２８	計	２９		

教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教職の意義及び教員の役割・職務内容 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法	8	教育原理	2	必修	
			教職論	1	必修	
			教育制度論	1	必修	
			教育心理学	2	必修	
			特別支援教育	1	必修	
			教育課程論	1	必修	
			計	8		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容	6	道徳教育の理論と方法	1	必修	
			特別活動及び総合的な学習の指導法	1	必修	
	・教育の方法及び技術		教育の方法と技術	2	必修	
	・生徒指導の理論及び方法		生徒指導	1	必修	
	・教育相談の理論及び方法		教育相談	1	必修	
			計	6		
教育実践に関する科目	・養護実習	5	事前及び事後指導（養護）	1	必修	
			養護実習	2	必修	
			教職インターンシップ	2	必修	
	・教育実践演習	2	教職実践演習（養護教諭）	2	必修	
			計	7		
大学が独自に設定する科目		7	教育学概論Ⅰ	1	必修	
			基礎技術Ⅰ	2	必修	
			家族看護論	1	必修	
			臨床判断論	1	必修	
			サービスラーニング	1	必修	
			セーフティプロモーション	1	必修	
			計	7		
計		５６	総計	５７		

【教育職員免許法施行規則第66の6に定める科目】

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学で開講する科目及び単位数			
科目	最低修得単位数	授　業　科　目	単位数	備考	卒業必修
日本国憲法	2	社会と人権（日本国憲法）	2	必修	
体育	2	体育講義	1	必修	
		スポーツと健康	1	必修	
外国語コミュニケーション	2	Speaking & Listening	1	必修	○
		Writing	1	必修	○
		Reading Ⅰ	1	必修	○
		Reading Ⅱ	1	必修	
		Process Writing	1	必修	
		時事英語	1	必修	
		異文化交流（海外語学研修）	2		
情報機器の操作	2	情報リテラシーⅠ	1	必修	○
		情報リテラシーⅡ	1	必修	
計	8	計	１４		